

カラマツ先枯病に関する文献目録

(1950~1965)

Kazuo Ito : A Bibliography of the Shoot Blight of Larch

(1950~1965).

伊 藤 一 雄⁽¹⁾

本病に関する最初の文献は沢田 (1950)¹⁵⁹⁾ によるもので、氏は枝枯病という病名のもとにその病原菌を新種と認めて *Physalospora laricina* SAWADA と記載した。もっとも亀井 (1961)⁸²⁾ によれば本病はこれより以前に北海道で見い出され、梢枯病 (しょうがれびょう, さきがれびょう) とよばれていたということであるが、公表された文献は全くない。

魚住 (1960)¹⁷⁸⁾ によって本病病原菌の柄子殻時代 *Macrophoma* が発見されたことから、山本 (和) (1961)¹⁸³⁾ は本菌を *Guignardia* に転属、その学名を *Guignardia laricina* (SAWADA) YAMAMOTO et K. Ito とした。

本病の病名は先命権に従えば沢田 (l.c.) の枝枯病を用いるのが当然であるが、しかし沢田 (l.c.) 以前すでに北海道で称びなれていた梢枯病はその病徴を表現する適切な名称である。ところで梢枯病を「さきがれびょう」と訓ずることは現今ややむずかしいという見解のもとに、伊藤 (1961)⁸⁴⁾ によって「先枯病」とすることが提案され、現在この病名が広く用いられている。

すでに述べたように本病の最初の報文は 1950 年に発表され、樹病専門家の間にはこれはカラマツに烈しい病状をもたらすことは知られていたが、一般林業家の関心をひくに至ったのは 1960 年 (昭35) 以降のことである。本病に関する文献の年別発表数をしめせば第1表のとおりで、すなわち 1961 年 (昭36) から著しく急増、この状態は 1964 年 (昭39) まで続き、薬剤防除法その他の防除対策が見い出されたことおよび気象条件等によって本病の被害拡大は阻止され、小康状態を保つにいたった 1965 年 (昭40) にはやや減少している。

第1表 各年別先枯病文献発表数

発 表 年	1950 (昭25)	1951 (昭26)	1952 (昭27)	1953 (昭28)	1954 (昭29)	1955 (昭30)	1956 (昭31)	1957 (昭32)	
文 献 数	1	—	—	1	1	—	2	1	
発 表 年	1958 (昭33)	1959 (昭34)	1960 (昭35)	1961 (昭36)	1962 (昭37)	1963 (昭38)	1964 (昭39)	1965 (昭40)	計
文 献 数	4	5	9	46	53	51	42	25	241

発表文献を著者の所属機関別にみると第2表のとおりで、それは大学関係、林野庁、営林局署、農林省林業試験場、地方庁関係、民間団体ときわめて広範囲にわたり、本病がわが国林業界からいかに重大な関心が寄せられたかは、これからでも容易にうかがうことができる。

(1) 保護部長・農学博士

第2表 著者所属機関別発表文献数

著者 の所属 機関	大学関係	林野庁・ 営林局署	国立林業 試験場	地方 関係	民間 団体	その他
文 献 数	28	41	147	16	29	4

注：異なる所属機関にまたがる共同発表論文は、それぞれの各機関に重複加算した。

本病に関する文献目録としては、すでに1962年（昭37）5月までの分を公表したことがある*1。しかしこれはその発表形態からして十分にゆきわたらないうらみがあるので、このたび改めて脱落していたものを追加収録し、1965年までの分をここにとりまとめた。なおこの文献目録は試験研究論文に限定することなく、本病について述べられたものは広く採録する方針のもとに編さんされた。

この文献目録を作成するにあたって、林業試験場保護部樹病科長千葉修博士、同樹病研究室長高井省三博士、同研究室員小林享夫氏、同陳野好之氏（現四国支場保護研究室長）、同魚住正氏、北海道支場樹病研究室横田俊一博士、および東北支場保護第一研究室長佐藤邦彦氏はか同研究室員一同のご協力をいただき、なお社団法人林業薬剤協会専務理事谷井俊男氏のご好意も賜わった。以上の方々のご援助によってようやくこれを編さんすることができたもので、筆者は各位に対して心から謝意を表する。

- 1) 藍野祐久（1964）. 最近話題になっている二、三の病虫害の防除対策. 林業技術 262, 15～17.
- 2) 赤井重恭（1965）. 北海道のカラマツ先枯病の印象. 北方林業 190, 18～20.
- 3) 赤井重恭（1965）. 青森営林局管内の樹病調査における印象. ぞうりん 35, 1～4.
- 4) 青木昭二・高島 正・竹内直文・大野時寛（1962）. カラマツ先枯病被害林分の成長について. 札幌林友 99, 1～15.
- 5) 有馬純敏（1962）. カラマツ先枯病被害発生状況とその対策. 林業と薬剤 2, 8～9.
- 6) 千葉 修（1963）. カラマツ先枯病の薬剤防除について—その現状と問題点. 森林防疫ニュース 12（5）, 103～107.
- 7) 千葉 修（1964）. カラマツ先枯病の防除—とくに未発生地への対策. 山林 962, 29～34.
- 8) 千葉 修（1964）. カラマツ苗木の先枯病の防ぎ方. 今月の農薬 8（3）, 88～92.
- 9) 千葉 修・陳野好之（1965）. 福島、栃木両県下におけるカラマツ先枯病発生の概況. 森林防疫ニュース 14（4）, 58～63.
- 10) 千葉 茂・永田義明（1964）. カラマツ属の育種に関する研究（2）落葉病、先枯病に対する樹種間の差異. 日林北海道支講 12, 114～119.
- 11) 出川和市（1962）. カラマツ先枯病被害状況中間報告書とその対策. 森林防疫ニュース 11（8）, 210.
- 12) 道家信道（1963）. 岩手山試験紀行. 林業と薬剤 6, 8～9.
- 13) 道家信道・佐藤治樹・滝口和夫・菊地市三郎（1964）. 造林地におけるナラマイシン（シクロヘキシイミド）によるカラマツ先枯病防除試験（第1報）（要旨）. 日植病報 29（2）, 68.

*1 [伊藤一雄]: カラマツ先枯病に関する文献目録（1）. 林業薬剤協会. 1～7, 昭和37年（謄写刷）.

- 14) 道家信道 (1965). カラマツさきがれ病の特効薬ヒザロシンについて. 農薬 12 (3), 27~31.
- 15) 遠藤克昭・横田俊一 (1963). カラマツ先枯病薬剤防除試験 山出し苗木の休眠期浸漬消毒. 北方林業 168, 85~89.
- 16) 遠藤克昭・横田俊一 (1963). カラマツ先枯病薬剤防除 春山行苗木の消毒. 北方林業 173, 253~258.
- 17) 合田昌義 (1962). 生物による最近の森林被害の傾向について. 樹木 12 (8), 67~69; 12 (9) 66~70; 12 (10), 70~74; 12 (11), 72~76; 12 (12), 66~70.
- 18) 合田昌義 (1963). 同 上. 同 13 (1), 72~75; 13 (2), 78~83; 13 (3), 44~49; 13 (4), 54~59; 13 (5), 62~68; 13 (10), 54~63.
- 19) 浜 武人 (1962). 長野県下におけるカラマツ先枯病騒動記. 森林防疫ニュース 11 (8), 211.
- 20) 浜 武人 (1962). 長野県下におけるカラマツ先枯病に関する調査報告書一付 先枯病類似被害のみわけ方と未発生地帯の防除対策一. 長野林友 (5), 2~17.
- 21) 浜 武人 (1963). カラマツ先枯病現地打合会印象記. 北方林業 171, 191~194.
- 22) 原 薫・伊藤一雄 (1963). カラマツ先枯病菌胞子形成培地の探索. 74回日林講 300~301.
- 23) 原 薫・伊藤一雄 (1963). カラマツ先枯病菌胞子形成培養基について (予報). 日林誌 45 (7), 238~241.
- 24) 原 康行 (1962). 岩手県内カラマツ先枯病現地研究会に参加して. 林業と薬剤 3, 16~18.
- 25) 林 春定 (1964). ウニモクによるカラマツ先枯病の薬剤防除試験. 札幌林友 115, 28~33.
- 26) 五十嵐恒夫 (1963). カラマツ先枯病の薬剤防除試験の方法と効果判定方法について. 林業と薬剤 4, 15~17.
- 27) 五十嵐恒夫 (1963). カラマツ先枯病の薬剤による防除. 農薬の進歩 9 (4), 44~52.
- 28) 五十嵐恒夫 (1963). カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究 (X). 感染時期に関する研究 (予報). 日林北海道支講 12, 93~95.
- 29) 五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). 同 上 (IV). 造林地における各種農薬用殺菌剤による防除試験 (予報). 74回日林講 287~289.
- 30) 五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). 同 上 (V). 造林地におけるジチオ・カーバメート系およびその類縁殺菌剤による防除試験 (予報). 74回日林講 289~290.
- 31) 五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). 同 上 (VI). 抗生物質の茎葉散布による防除試験 (予報). 74回日林講 290~293.
- 32) 五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). 同 上 (XI). 散布回数と散布時期に関する検討. 日林北海道支講 12, 95~97.
- 33) 五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). 同 上 (XII). 2年間連続散布による効果について. 日林北海道支講 12, 97~98.
- 34) 五十嵐恒夫・高岡 恭・佐藤国夫 (1963). 同 上 (XIII). ヘリコプター散布による防除試験. 日林北海道支講 12, 99~100.
- 35) 五十嵐恒夫・高岡 恭 (1964). 同 上 (XIV). 各種抗かび性抗生物質の防除効果の検討. 75回日林講 387~390.

- 36) 今関六也 (1961). カラマツ先枯病と林業の科学性. 森林防疫ニュース 10 (4), 67.
- 37) 今関六也 (1961). 再びカラマツ先枯病と林業の科学性について. 森林防疫ニュース 10 (8), 151.
- 38) 今関六也・伊藤一雄 (1961). Selected dangerous forest diseases in Eastern Asia (Japan). Report of Working Group on International Co-operation in Forest Diseases Research, Section 24, Forest Protection, IUFRO. 13th Congress, Vienna, 23~35.
- 39) 今関六也 (1961). 欧米かけ足旅行から帰って—先枯病と混交林—. 北方林業 166, 244~247.
- 40) 今関六也・伊藤一雄 (1963). Dangerous forest diseases in Japan. U. S. Dept. Agr., Miscellaneous Pub., 939, 46~54.
- 41) 稲垣光雄 (1965). 航空機利用による病虫害防除事業体験談—2. カラマツ先枯病防除の空中散布について. 林業技術 284, 12~15.
- 42) 井上元則 (1954). 北海道における主要森林病虫害とその防除対策. 王子造林株式会社 1~19.
- 43) 井上元則 (1961). 北海道におけるカラマツ保護上の問題点. 寒帯林 93, 11~31.
- 44) 井上元則 (1962). 北海道の拡大造林に伴うカラマツ先枯病の問題. 山林 936, 8~14.
- 45) 井上元則 (1962). 道南地方のカラマツ造林と保護上の諸問題. 銀葉 80, 10~17.
- 46) 井上元則 (1964). カラマツ造林と先枯病発生の推移. 林業技術 273, 8~13.
- 47) 石森 斉 (1962). カラマツ先枯病の防除試験について. 青森営林局林業技術研究集録 7~9.
- 48) 石森 斉 (1963). 苗畑に於けるカラマツ先枯病の薬剤防除試験について. 青森営林局林業技術研究集録 30~32.
- 49) 伊藤一雄 (1959). 最近問題になっている林木の病害 (針葉樹篇). 農葉春秋 6, 9~13.
- 50) 伊藤一雄 (1959). 林木の耐病性. 東京, 77~79.
- 51) 伊藤一雄 (1959). 図説苗畑病害診断法 前編. 東京, 106~108.
- 52) 伊藤一雄 (1960). 樹病学概論. 東京, 36~37.
- 53) 伊藤一雄 (1961). カラマツ先枯病の病原菌と伝播および防除対策. 森林防疫ニュース 10 (8), 152~157.
- 54) 伊藤一雄 (1961). カラマツの先枯病について—北海道の激害地をみて—. 北方林業 143, 43~48.
- 55) 伊藤一雄 (1961). 北海道の林木病害について. 寒帯林 91, 82~93.
- 56) 伊藤一雄 (1961). 最近における森林病害の諸問題 (森林保護講座4). グリーン・エージ 11 (4), 56~61.
- 57) 伊藤一雄 (1961). カラマツの先枯病—その特徴と対策について—. 林業新知識 92, 10~11.
- 58) 伊藤一雄 (1961). カラマツ先枯病とその防除. 農葉 8 (5), 27~31.
- 59) 伊藤一雄 (1961). カラマツの先枯病とその薬剤防除について. 林業と薬剤 1, 8~11.
- 60) 伊藤一雄 (1961). 図説林木病害診断法 針葉樹編. 東京, 112~117.
- 61) 伊藤一雄・藍野祐久 (1961). 原色林木病虫害図鑑. 東京, 32.
- 62) 伊藤一雄 (1962). カラマツ造林木の重要病害. 73回日林講 27~36.
- 63) 伊藤一雄 (1962). 図説樹病新講. 東京, 286~303.

- 64) 伊藤一雄 (1962). カラマツの大敵先枯病の防除法. 全苗連時報 130, 2.
- 65) 伊藤一雄・吉田光男・武居忠雄・大和田 理・米林俊三・中村 毅 (1962). カラマツ先枯病をどうする (座談会記事). 森林防疫ニュース 11 (10), 262～268.
- 66) 伊藤一雄 (1963). Shoot blight of larches. A destructive disease in larch plantations of Japan. 林試研報 159, 89～103.
- 67) 伊藤一雄 (1963). カラマツ先枯病の診断と防除. 林業技術 250, 15～20.
- 68) 伊藤一雄 (1963). 秋から冬に発生する病害の手軽なみわけ方. 林業新知識 119, 8～11.
- 69) 伊藤一雄 (1964). カラマツ先枯病薬剤防除の現状. 森林防疫ニュース 13 (6), 138～143.
- 70) 伊藤一雄 (1964). カラマツ先枯病防除対策の現状と私見. 林業技術 267, 8～11.
- 71) 伊藤一雄 (1964). カラマツの先枯病とその防除. 今月の農薬 8 (7), 36～38.
- 72) 伊藤一雄 (1964). 林木病害の薬剤防除について. 新農薬 18 (2), 20～23.
- 73) 伊藤一雄 (1964). その後のカラマツ先枯病 おもに薬剤防除法について. 林業新知識 128, 8～11.
- 74) 伊藤一雄 (1964). カラマツの先枯れ病—“法定伝染病”に指定されたのはなぜか—. 科学読売 (6), 86～91.
- 75) 伊藤一雄 (1965). 病害研究の展望と問題点 9. 林木. 日植病報 31, 122～124.
- 76) [伊藤一雄] (1965). カラマツの先枯病. 林業試験場60年のあゆみ 144.
- 77) 伊藤一雄 (1965). カラマツ先枯病薬剤防除の進歩. 森林防疫ニュース 14 (4), 54～58.
- 78) 伊藤一雄 (1965). 最近におけるカラマツ先枯病の薬剤防除. 農薬の進歩 11 (2), 9～14.
- 79) 伊藤力雄 (1962). カラマツ先枯病被害地をたずねて. 林業と薬剤 1, 12～13.
- 80) 伊藤忠男 (1964). 福島県におけるカラマツ林の実態とカラマツ先枯病防除対策について. 森林防疫ニュース 13 (1), 31～35.
- 81) 亀井専次 (1956). カラマツ類の病害と腐朽. カラマツ保護編. 北方林業叢書 6, 1～43.
- 82) 亀井専次 (1961). 初期におけるカラマツ先枯病研究等について. 森林防疫ニュース 10 (8), 157～160.
- 33) 亀井専次 (1961). カラマツ類先枯病研究のおもいで. 札幌林友 82, 13～17.
- 84) 亀井専次・鈴木 隆 (1963). 北海道カラマツ先枯病類似病菌等について. 74回日林講 303～304.
- 85) 金田 一 (1964). 苫小牧営林署管内におけるカラマツ造林と先枯病の推移について. 札幌林友 113, 2～13.
- 86) 加藤福市 (1961). 先枯病研修旅行記. 寒帯林 98, 49～55.
- 87) 加藤亮助・小野 馨 (1962). カラマツ先枯病発生造林地における保護帯の効果 (予報). 苫小牧地域におけるカラマツ先枯病発生造林地の実態. 72回日林講 238～240.
- 88) 加藤亮助・小野 馨・菊田信吾・横山喜作 (1962). カラマツ先枯病発生造林地における保護帯の効果 (予報) (要旨). 北方林業 158, 148.
- 89) 加藤善忠 (1962). カラマツの造林. 73回日林講 15～26.
- 90) 慶野金市・川崎俊郎・大久保良治・伊藤力雄 (1965). カラマツ先枯病防除空中散布試験におけ

- る薬剤落〔下〕状況、落下量および茎葉付着量について、76回日林講 308～310.
- 91) 北上武光 (1963). カラマツ先枯病の薬剤使用効果について、青森営林局林業技術研究集録 82～86.
 - 92) 小林享夫 (1960). カラマツの胴枯病について—先枯病とのみわけ方を中心にして—、森林防疫ニュース 9 (8), 168～170.
 - 93) 小林享夫 (1962). カラマツの暗色枝枯病 (新称) —先枯病との比較—、日林誌 44 (10), 282～286.
 - 94) 近藤秀明 (1963). 茨城県に発生したカラマツ先枯病、森林防疫ニュース 12 (11), 231～233.
 - 95) 高 済鎬 (1964). 韓国で問題になっている山林病虫害、森林防疫ニュース 13 (10), 249～252.
 - 96) 小柳誠之・尾崎稲穂・小森正朝 (1964). ヘリコプターによるカラマツ先枯病防除用薬剤散布の一例について、北方林業 179, 45～50.
 - 97) 倉田益二郎 (1964). カラマツ先枯病さわぎで思うこと、グリーン・エージ 14 (4), 9～11.
 - 98) 松尾 繁 (1964). カラマツ先枯病の被害状況について、第一回技術改善並びに事務簡素化に関する研究発表会 (経営部編) 秋田営林局, 23～26.
 - 99) 松岡 明 (1962). 北海道のカラマツ先枯病について、林業と薬剤 3, 6～9.
 - 100) 松山資郎 (1961). カラマツの先枯病の防除対策協議会経過、森林防疫ニュース 10 (12), 270.
 - 101) 見里朝正 (1962). 農薬用抗生物質、植物防疫 16 (1), 29～31.
 - 102) 見里朝正 (1962). 農薬用抗生物質の作用機作、植物防疫 16 (10), 439～442.
 - 103) 盛田達三 (1963). カラマツ先枯病の現状と対策、グリーン・エージ 10 (3), 62～66.
 - 104) 村上源太郎 (1964). 秋田営林局管内の病虫害による被害と防除について—その1—、森林防疫ニュース 13 (3), 55～58.
 - 105) 中川祐四男・片岡是博・小関宇太 (1960). 潮風害とカラマツ先枯病の発生について、第9回北海道林務部林業技術研究発表会講演集 175～186.
 - 106) 中川祐四男 (1963). 樹種の選定、林 130, 45～54.
 - 107) 中村 毅 (1963). カラマツ先枯病の現状と防除対策、林業技術 250, 5～8.
 - 108) 中野 実・加藤亮助・横田俊一 (1962). 函館地域におけるカラマツの先枯病の実態—予備的な現地踏査からのひとつの記録—、北方林業 155, 58～62.
 - 109) 中野末吉 (1964). 造林地におけるカラマツ先枯病薬剤防除について、北方林業 179, 51～55.
 - 110) 中塚鉄也 (1965). 造林事業における薬剤試験、林業と薬剤 12, 3～5.
 - 111) 小口健夫 (1963). カラマツ先枯病に対するカラマツクローンの耐病性差異、北海道光珠内林木育種場報 2, 49～63.
 - 112) 小口健夫・五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究 (Ⅲ)、苗畑における各種農業用殺菌剤による防除試験 (予報)、74回日林講 285～287.
 - 113) 小口健夫・五十嵐恒夫・高岡 恭 (1963). カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究 (Ⅳ)、シクロヘキシイミド (cycloheximide) の防除効果と薬害について、日林北海道支講 12, 90～92.
 - 114) 岡本光雄・中川祐四男 (1962). カラマツ先枯病発生地の環境、72回日林講 291～295.
 - 115) 小野 馨 (1957). 北海道における昭和31年度に発生したおもな樹木病害、北方林業 98, 143～

- 147.
- 116) 小野 馨（1958）. 昭和32年度における主な樹木病害の発生状況について. 北方林業 111, 172～174.
- 117) 小野 馨（1959）. 本年の樹木病害発生の傾向. 北方林業 128, 343～346.
- 118) 小野 馨（1960）. 昭和35年度における本道の苗畑と造林地の病害. 北方林業 141, 428～431.
- 119) 小野 馨（1962）. 昭和36年度における本道の樹木病害発生傾向について. 北方林業 158, 129～132.
- 120) 小野 馨（1963）. 昭和37年度における北海道の樹木病害発生傾向について. 北方林業 169, 117～122.
- 121) 小野 馨（1964）. 最近10年間ににおける北海道の樹木病害. 森林防疫ニュース 13（4）, 72～76.
- 122) 〔大政正隆ほか〕（1963）. 林業薬剤の役割と実態（座談会記事）. グリーン・エージ 13（10）, 10～20.
- 123) 大村正美（1962）. 内陸におけるカラマツ先枯病. 寒帯林 102, 31～36.
- 124) 佐保春芳（1962）. 東京大学北海道演習林で認められたカラマツ先枯病とその気象状況について. 北方林業 156, 70～71.
- 125) 斎藤宇右衛門（1962）. カラマツ先枯病を防ぎましょう. 青森林業ニュース 26, 7.
- 126) 斎藤亮一（1964）. 浦河のカラマツ先枯病, 林 143, 53～54.
- 127) 斎藤雄一・五十嵐恒夫・谷口三佐男・山口定一（1961）. カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究（Ⅰ）. —各種殺菌剤の茎葉散布による予防試験（予報）—. 日林北海道支講 10, 67～69.
- 128) 斎藤雄一・武藤憲由・五十嵐恒夫・谷口三佐男・高岡 恭（1961）. カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究（Ⅱ）. —シクロヘキシイミド（cycloheximide）油剤の樹幹塗布による防除試験（予報）—. 日林北海道支講 10, 69～71.
- 129) 斎藤雄一（1965）. カラマツ先枯病の防除薬剤に関する研究. 昭和38年度林業試験研究報告 林野庁.
- 130) 佐々木 紀（1962）. カラマツ先枯病の防除試験について. 寒帯林 102, 46～50.
- 131) 佐々木幸栄（1963）. 苗畑に於けるカラマツ先枯病の薬剤防除試験について. 青森営林局林業技術研究集録 33～35.
- 132) 佐藤昭良（1965）. 先枯病の防除試験について. 寒帯林 112, 75～80.
- 133) 佐藤市雄（1962）. 向町営林署管内に於けるカラマツ先枯病と対策の一考察. 蒼林 151 34～42.
- 134) 佐藤市雄・斎藤一雄（1962）. からまつ先枯病防除とその跡地造林について. 秋田営林局研究発表会論文集 36～40.
- 135) 佐藤邦彦（1961）. 東北地方におけるカラマツ先枯病（梢枯病, 枝枯病）. 森林防疫ニュース 10（5）, 94～97.
- 136) 佐藤邦彦（1961）. 東北地方における樹病の発生状況と研究の現状. 青森林友 152, 7～13.
- 137) 佐藤邦彦（1961）. 秋田営林局管内におけるカラマツの先枯病とその対策. 蒼林 141, 46～56.
- 138) 佐藤邦彦（1961）. 林業試験研究東北ブロック協議会保護（カラマツ先枯病）専門部会の開催. 森林防疫ニュース 10（10）, 218.

- 139) 佐藤邦彦 (1961). カラマツ先枯病. 岩手の林業 59, 8~10.
- 140) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1962). カラマツ属各種の落葉病と先枯病にたいする耐病性. 72回日林講 301~303.
- 141) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1962). カラマツ先枯病に関する研究 (予報) Ⅰ. 東北地方における被害の実態. 日林東北支講 13, 92~98.
- 142) 佐藤邦彦・庄司次男 (1962). カラマツ先枯病に関する研究 (予報). Ⅱ. 病原菌の生活史と子のう胞子の発芽生理. 日林東北支講 13, 98~102.
- 143) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1962). カラマツ先枯病に関する研究 (予報). Ⅲ. 東北地方における被害の実態. 73回日林講 217~219.
- 144) 佐藤邦彦・庄司次男 (1962). カラマツ先枯病に関する研究 (予報). Ⅳ. 病原菌 *Guignardia laricina* の柄胞子の発芽生理. 73回日林講 219~221.
- 145) 佐藤邦彦・庄司次男 (1962). カラマツ先枯病に関する研究 (予報). Ⅴ. 病原菌 *Guignardia laricina* の病原性. 73回日林講 221~224.
- 146) 佐藤邦彦 (1963). 東北地方におけるカラマツ先枯病. 林業と薬剤 4, 6~8.
- 147) 佐藤邦彦 (1963). 林地でまん延する苗木の病害. 山林 948, 18~22.
- 148) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1963). カラマツ先枯病に関する研究 Ⅰ. 林試研報 156, 85~143.
- 149) 佐藤邦彦・庄司次男 (1963). ダグラスファー苗の先枯病. 74回日林講 301~303.
- 150) 佐藤邦彦 (1964). 東北地方におけるカラマツ先枯病の分布とその解析. 森林防疫ニュース 13 (6), 143~147.
- 151) 佐藤邦彦 (1964). 造林技術者のための森林病害の防除技術 (Ⅴ), (Ⅵ). 蒼林 179, 48~59; 180, 54~62.
- 152) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1964). カラマツ先枯病の発生と気象条件—とくに気温と降水量との関係—. 75回日林講 384~387.
- 153) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1964). 苗畑におけるカラマツ先枯病の薬剤防除試験 (予報). 日林東北支誌 51~55.
- 154) 佐藤邦彦 (1965). 造林技術者のための森林病害の防除技術 (Ⅸ). 蒼林 183, 50~59.
- 155) 佐藤邦彦 (1965). 林業技術者のための森林病害予防の常識. わかりやすい林業解説シリーズ 10, 1~51.
- 156) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1965). 東北地方のスギ, アカマツおよびカラマツ種子産地試験地における病害の発生状態. 日林誌 47 (12), 452~457.
- 157) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1965). 苗畑におけるカラマツ先枯病の薬剤防除試験. 林試東北支場研究発表会記録 (昭和38年度), 54~60.
- 158) 佐藤邦彦・横沢良憲・庄司次男 (1965). カラマツ先枯病の発生と降雨との関係. 林試東北支場年報 6, 95~98.
- 159) 沢田兼吉 (1950). 東北地方における針葉樹の菌類. Ⅱ. スギ以外の針葉樹の菌類. 林試研報 46, 111~150.

- 160) 下野義雄・菊池 実・岩崎良橘(1963). カラマツ先枯病防除の一考察. 青森営林局林業技術研究集録 87～89.
- 161) 高橋延清(1962). カラマツ類の育種. 73回日林講 1～15.
- 162) 高橋徳可・高橋小三郎(1962). カラマツ先枯病の薬剤処理結果報告その他. 秋田営林局研究発表会論文集 59～65.
- 163) 高井省三(1961). カラマツ先枯病菌の生理学的研究. 農林省林業試験場年報(昭和36年度), 32.
- 164) 高井省三・伊藤一雄・林 弘子(1962). カラマツ先枯病菌の毒性について(予報). 72回日林講 298～301.
- 165) 高井省三(1964). カラマツ先枯病菌のペクチン分解力 病原菌培養液のペクチン分解力(予報)(要旨). 日植病報 29(2), 86～87.
- 166) 高岡 恭(1961). カラマツ先枯病菌に対する各種農業用殺菌剤の抗菌力(要旨). 日植病報 26(5), 236.
- 167) 高岡 恭(1961). 農業用殺菌剤としての有機錫化合物. 農薬の進歩 7(2), 17～24.
- 168) 高岡 恭・五十嵐恒夫・小口健夫(1963). カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究(VII). 各種農業用殺菌剤による防除効果について. 日林北海道支講 12, 84～87.
- 169) 高岡 恭・五十嵐恒夫(1963). カラマツ先枯病の薬剤防除に関する研究(VIII). シクロヘキシミド(Cycloheximide)配合剤に関する検討. 日林北海道支講 12, 87～90.
- 170) 田村栄三(1964). カラマツ先枯病と松くい虫. 森林防疫ニュース 13(1), 2.
- 171) 谷井俊男(1963). カラマツ先枯病試験の中間調査に参加して. 林業と薬剤 6, 12～14.
- 172) 田瀬幸男(1962). カラマツ先枯病を造林地に見る. 林業と薬剤 2, 13～15.
- 173) 戸館誠二(1964). カラマツ先枯病の薬剤防除事業化試験の成果と功程調査について. 青森営林局林業技術研究集録 92～95.
- 174) 土田鉄雄(1961). 内地におけるカラマツ先枯病の被害現況. 9回道林務部林業技術研究発表会講 192～197.
- 175) 都築辰吉(1964). 前橋営林局管内における森林病虫害とその防除について. 森林防疫ニュース 13(2), 36～38.
- 176) 魚住 正(1953). カラマツ梢枯病について. 林試札幌支場研究発表会講(昭和27年度), 116～117.
- 177) 魚住 正(1958). 北海道におけるカラマツの梢枯病(枝枯病)について. 森林防疫ニュース 7(8), 156～158.
- 178) 魚住 正(1960). カラマツ先枯病菌の研究(予報). 本菌の生活史について. 70回日林講 340～341.
- 179) 魚住 正(1961). カラマツ先枯病について—特に病原菌の生活史—. 林試研報 132, 47～54.
- 180) 魚住 正(1961). カラマツ先枯病について. 山脈 12(9), 8～11.
- 181) 山田耕一郎・中村謙吉・木立純輔(1963). シンポジウム「カラマツ林業」に出席して. 青森林友 173, 55～61.

- 182) 山本和太郎 (1961). *Glomerella* と *Guignardia* 属の種類の改変 (要旨). 日植病報 26 (5), 229.
- 183) 山本和太郎 (1961). *Glomerella* と *Guignardia* に属する種類, 特にその不完全時代. 兵庫農大研報 5 (1), 農業生物学編, 1~12.
- 184) 山本和太郎 (1962). 炭疽病菌とその類似菌の分類と種類の改変. 植物防疫 16 (2), 21~26.
- 185) 山根玄一 (1965). 歌志内のカラマツ先枯病の検討. 林 157, 1~10.
- 186) 柳沢聡雄 (1956). カラマツの育種. 林業技術 175, 26~29.
- 187) 柳沢聡雄・斎藤幹夫 (1960). カラマツさき枯病に対する耐病性. 北海道の林木育種 3 (1), 25~29.
- 188) 柳沢聡雄 (1961). カラマツの育種. 山林 921, 20~27.
- 189) 柳沢聡雄・真鍋忠久 (1964). カラマツ先枯病の耐病性育種 (第 1 報). 耐病性候補木の選出とそのクローン検定. 林試北海道支場年報 (1963), 1~13.
- 190) 余語昌資 (1962). 生態学と林業. 寒帯林 100, 76~85.
- 191) 横田俊一 (1960). カラマツ先枯病の見わけ方. 林 97, 20~24.
- 192) 横田俊一 (1961). 苗畑におけるカラマツ先枯病の伝播について. 林試研報 130, 71~77.
- 193) 横田俊一 (1961). 北海道におけるカラマツ先枯病の現況について. 森林防疫ニュース 10 (8), 160~164.
- 194) 横田俊一 (1961). カラマツ先枯病病徴写真集. 森林防疫ニュース 10 (8), 165~168.
- 195) 横田俊一 (1961). 北海道におけるカラマツさき枯病. 北方林業 142, 20~26.
- 196) [横田俊一] (1961). カラマツさき枯病防除対策打合会議事録. 北方林業 143, 58~60.
- 197) 横田俊一 (1961). カラマツ先枯病の現状とその見分け方について. 北海道森林防疫協会 1~8.
- 198) 横田俊一 (1961). カラマツ先枯病について. 寒帯林 93, 32~48.
- 199) 横田俊一 (1961). 北海道におけるカラマツさき枯病. 寒帯林 96, 13~23.
- 200) 横田俊一・井上 桂 (1961). カラマツ先枯病の発生と風との関係について (予報). 北方林業 147, 177~182.
- 201) 横田俊一 (1962). カラマツ先枯病に関する研究 (Ⅱ). 病原菌とその生活史. 林試研報 142, 173~202.
- 202) 横田俊一 (1962). カラマツ先枯病菌の子のう胞子の放出について (予報). 72回日林講 295~298.
- 203) 横田俊一 (1962). カラマツ先枯病菌の子のう胞子の放出について (要旨). 北方林業 158, 148.
- 204) 横田俊一 (1962). カラマツ先枯病菌の子のう胞子の放出について—野外における放出—. 北方林業 163, 289~293.
- 205) 横田俊一 (1962). 道内のカラマツ先枯病発生地域におけるカラマツの造林立地の検討. 北方林業 165, 361~367.
- 206) 横田俊一 (1962). カラマツ先枯病について. 林幌林友 100, 106~115.
- 207) 横田俊一 (1963). カラマツ先枯病に関する研究 Ⅲ. カラマツ先枯病菌の胞子の放出, 分散とその発芽について. 林試研報 151, 1~44.

- 208) 横田俊一 (1963). カラマツ先枯病菌の孢子飛散時期—その防除と関連して. 森林防疫ニュース 12 (9), 184～187.
- 209) 横田俊一 (1963). カラマツ先枯病について. 樹氷 13 (1), 84～94.
- 210) 横田俊一 (1963). カラマツ先枯病について. 北見林友 118, 24～33.
- 211) 横田俊一 (1963). カラマツ先枯病について—とくに孢子の行動—. 農薬の進歩 9 (4), 35～43.
- 212) 横田俊一・小野 馨・遠藤克昭 (1963). 苗畑におけるカラマツ先枯病の薬剤防除試験 (予報). 北方林業 167, 56～62.
- 213) 横田俊一 (1964). カラマツの先枯病. 北方林業叢書 26, 1～125.
- 214) 横田俊一・鶴田武雄・鈴木孝雄 (1964). カラマツ先枯病に関する研究 IV. 先枯病の発生, 蔓延と気象. 林試研報 164, 41～77.
- 215) 横田俊一・小野 馨・遠藤克昭 (1964). 苗畑におけるカラマツ先枯病防除試験 (昭和 38 年度). 北方林業 179, 42～45.
- 216) 横田俊一・小野 馨・遠藤克昭・松崎清一 (1965). 造林地におけるカラマツ先枯病防除試験—濃厚少量散布のころみ—. 林業と薬剤 12, 1～2.
- 217) 横田俊一・小野 馨・遠藤克昭・松崎清一 (1965). 苗畑におけるカラマツ先枯病防除試験. 76回日林講 310～312.
- 218) 横沢良憲 (1958). 青森営林局管内に発生した主要造林木の病害. 林試青森支場研究だより 97, 1～2.
- 219) 横沢良憲・村井三郎 (1958). 欧州カラマツ, 日本カラマツ, および合の子カラマツにおける枝枯病 (*Phyalospora laricina* SAWADA) の罹病状況について. 68回日林講 254～255.
- 220) 横沢良憲 (1959). カラマツ先枯病 (*Phyalospora laricina* SAWADA) に関する研究 (第Ⅱ報). 69回日林講 362～363.
- 221) 横沢良憲 (1960). 昭和 34 年度青森営林局管内に発生した樹木病害の概要について. 林試青森支場研究だより 112, 3～4.
- 222) 横沢良憲・佐藤邦彦・小島忠三郎・北田健二 (1965). 竜ヶ森における気象とカラマツ先枯病の発生. 76回日林講 312～314.
- 223) 陳野好之・千葉 修 (1965). カラマツ先枯病の病態解剖に関する研究 (予報). 幼茎における侵入と寄主体内蔓延. 76回日林講 314.～317.
- 224) 青森営林局造林課 (1961). 「カラマツさき枯病」当局管内国有林にも発生. 青森林友 153, 19～21.
- 225) 青森営林局造林課保護係 (1962). カラマツ先枯病の現状と対策. ぞうりん 1, 4.
- 226) 青森営林局造林課保護係 (1962). カラマツ先枯病の現況と対策. 青森林友 165, 20～25.
- 227) 青森営林局造林課保護係 (1964). カラマツ先枯病の薬剤防除について. ぞうりん 21, 2～3.
- 228) 青森営林局造林課保護係 (1965). カラマツ先枯病の推移と防除. ぞうりん 31, 6.
- 229) 青森営林局造林課 (1965). 保護樹帯のとり方と実例検討. ぞうりん 34, 3～4.
- 230) 旭川営林局造林課保護係 (1964). 旭川局における先枯病の現況と防除試験. 寒帯林 110, 85～89.

- 231) 岩手県林業改良普及協会・岩手県緑化推進委員会 (1962). カラマツ先枯病の被害について. 岩手の林業 66.
- 232) 林業試験場東北支場保護第一研究室・豊沢竹松 (1963). カラマツ先枯病の薬剤防除試験 (予報). 青森営林局林業技術研究集録 39~43.
- 233) 林業試験場東北支場 (1964). カラマツ造林に関する研究. 1~25.
- 234) 林業試験場東北支場保護第一研究室 (1964). 東北地方におけるカラマツ先枯病発生の実態一とくに被害の分布状態について一. 林試東北支場だより 25, 1~6.
- 235) 林業試験場東北支場保護第一研究室・豊沢竹松 (1964). カラマツ苗先枯病の薬剤防除試験 (予報). 青森営林局林業技術研究集録 33~39.
- 236) 林業試験研究北海道ブロック協議会 (1960). カラマツの病害をめぐる問題点. 北方林業 135, 14~17.
- 237) 札幌営林局監査課 (1961). 北海道におけるカラマツ先枯病の発生とその経過並びに防除対策について. 1~11.
- 238) [] (1961). カラマツ先枯病の応急防除対策通達さる. 森林防疫ニュース 10 (7), 150.
- 239) [] (1962). カラマツ先枯病に関する研究. 農林省林業試験場年報 (昭和 37 年度) 25~27.
- 240) [] (1963). カラマツ先枯病に関する研究. 農林省林業試験場年報 (昭 38 年度) 30~32.
- 241) [] (1964). カラマツ先枯病に関する研究. 農林省林業試験場年報 (昭 39 年度) 34~36.